

100円でできること

5回分

ポリオ※から子どもを守るためのワクチン
※高熱を伴い手足の麻痺などの症状が一生残ってしまう病気



x5

14袋

下痢で脱水症状を起こし、命を失うことを防ぐ粉(経口補水塩)



x14

3袋

重度の栄養不足からの回復に役立つ栄養治療食



x3

募金の方法は?

ハンド・イン・ハンド募金

募金箱申し込み期間:12月10日まで

カレンダー募金



(幅7cm x 高さ10cm x 奥行4cm)



詳しくはこちら!

政治、宗教などに関係なく、「手に手をとって」世界の子どものためのしあわせと明るい未来を実現させるために、ボランティアとして参加する募金活動です。昨年引き続き、街頭募金は中止いたしますが、お家や職場などで募金の呼びかけをしていただけるよう、コープぎふから募金箱をお渡ししています。集まった募金は生協の施設(お店・宅配事業所・ステーション)へ直接お持ちください。

皆さんからご提供いただいた新年用のカレンダーやスケジュール帳などを、店頭にて募金形式で頒布し、代金をユニセフ募金とする取り組みです。

※昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため、中止いたします。



お年玉募金

子どもたちがお年玉の一部を募金する事を通して、世界の子どもの現状に関心を寄せてもらうことを目的とした、募金活動です。お正月に家族でユニセフ活動や世界の子も達について話し合ってみませんか?募金方法は右記注文番号から、または宅配事業所・コープのお店まで直接お持ちください。



注文番号募金・店頭募金

宅配の注文用紙やe-フレンズ、お店の募金箱で通年ユニセフ募金を行うことができます。

【注文番号/募金名】	数量	金額
3985 ユニセフ募金	1口	100円
3986 ユニセフ募金	1口	1,000円



クラブ活動としてユニセフを広めることに取り組む / 岐阜西エリアユニセフクラブ



岐阜西エリアユニセフクラブ(メンバーは6人)

すべての子どもたちが平等に健やかに育ち、夢を持てるように、との思いで、ユニセフクラブは20年以上活動を続けています。しかし残念なことに、子どもたちに十分な支援が届くのは、まだまだ先のようです。

私たちが長く活動を続けてこられたのは、ハンド・イン・ハンド募金の時に一緒に募金箱を持って呼びかけてくれた中高生の皆さん、会場を貸していただいているマーサ21さん、共に活動をしている職員の皆さんなど、たくさんの人とつながり、元気をもらってきたからです。(今年は中止となりましたが...)

家庭でもユニセフのことが話題になるようにと、ハンド・イン・ハンド募金のお礼に手作りのプレゼントを渡す活動をしています。これらのプレゼントは、すべてボランティアさんの協力で作られています。

2019年のマーサ21で行ったハンド・イン・ハンド募金の様子。



あなたもユニセフクラブの「応援団」として、プレゼント作り等に参加してみませんか?



組合員からの応援メッセージ!

ユニセフ活動についての応援メッセージや、世界の子どもたちへのメッセージをお聞きました。

きれいな水が当たり前の日本。きれいな水がなく、雨水などを飲んでいる国があると聞きます。すべての人がきれいで安全な水が飲めるといいなと思い応援しています。(北方町 ひまわりさん)



100円の大事さを感じます!!
世界の子どもたちへ私も100円を届けます!(関市 ジャムさん)



どこの国のどんな子どもも安全で平和に幸せに生きる権利があります。世界中の人は協力して子どもたちを守りましょう!(郡上市 えくぼさん)



コロナで世界中が大変ですが、勉強することを忘れないで。あなた達が学んだことはあなた達の頭の中にあるのです。世界中どこへでもって行けます。だから頑張ってください!(岐阜市 chocoさん)



#できることから始めよう



コープぎふはユニセフを応援しています。

世界の子どもたちを支援するユニセフ活動



平和で豊かな未来を世界の子どもたちに残せるように、コープぎふではさまざまな活動を通じて、ユニセフなど世界の子どもたちを支援する取り組みを応援しています!



ユニセフってどんな活動をしているの?

ユニセフ(国際連合児童基金)はすべての子どもの命と権利を守るため、190の国や地域で活動している国際連合の機関です。新型コロナウイルス感染が世界中に広がり、子どもたちの生活にも大きな変化が起きました。しかし、同じ問題に直面しても、命を守ることができるかどうか、教育を続けられるかどうか、子どもたちが手にできるチャンスは、国や地域、その暮らす環境によって大きな格差があります。学校閉鎖が1年以上続いている国や地域の子どもたちが教育の機会を取り戻せるようにする支援、学校に石けんで手洗いができる設備を届け手洗いの大切さを伝える支援、中断した三種混合ワクチンの予防接種をいち早く再開する取り組みなど、どこに生まれても同じ1つの命として、だれひとり取り残さない世界にするためにユニセフは活動しています。そして、ユニセフの活動は「持続可能な開発目標(SDGs)」を達成する活動そのものです。皆さんから寄せられた募金は日本ユニセフ協会を通じて、最も支援を必要としている子どもたちを最優先に届けられます。



© UNICEF/UNI340665/Tesfaye
インターネット環境がないため、ラジオから流れてくる授業を聞きながら勉強を続ける男子の子(エチオピア)



© UNICEF/UN0367573/Tremeau
ユニセフが学校に届けた手洗いのための設備を使って、教室に入る前に手を洗う少年(コンゴ民主共和国)



© UNICEF/UNI325806/Abdul
ポリオの予防接種を受けている生後2か月の赤ちゃん(ウガンダ)



持続可能な開発目標(SDGs)とは、持続可能な世界を実現するために各国が取り組む2030年に向けた国際目標です。コープぎふは、SDGs行動計画を掲げSDGsの目標達成に取り組んでいきます。

コープぎふの取り組みは?

コープぎふでは、岐阜県ユニセフ協会と連携し、岐阜県在住の日本ユニセフ協会賛助会員や、ボランティア団体の皆さんと一緒に、ユニセフの輪を地域に広げる取り組みを行っています。

岐阜県ユニセフ協会に寄せられた募金額

2020年度
3,289,638円
※内コープぎふに寄せられた募金額 2,009,220円



2020年度の取り組み

ユニセフを知り・学ぶ取り組みが広がりました!!
昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により街頭募金やイベントが中止となりましたが、毎年コープぎふと一緒にハンド・イン・ハンド街頭募金に参加していた高校が独自でユニセフを学び、知る活動を行いました。



城南高等学校(岐阜市)

ハンド・イン・ハンド募金期間中に校内での募金に取り組み、募金箱をコープぎふへ持ってきていただきました。



岐阜県立益田清風高等学校(下呂市)

生徒たちがユニセフを学ぶためのユニセフ学習会を開催して、コープぎふ職員やエリア委員も参加しました。